

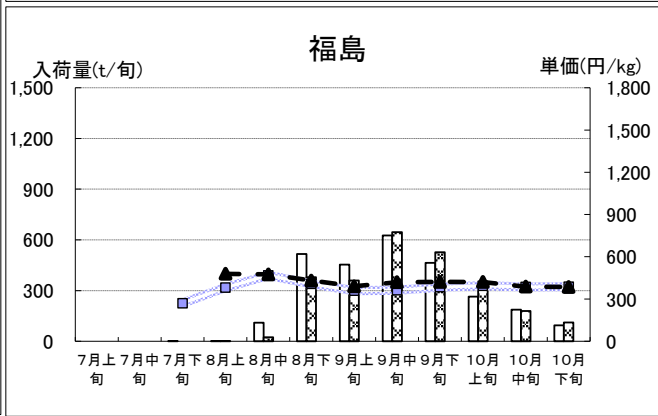
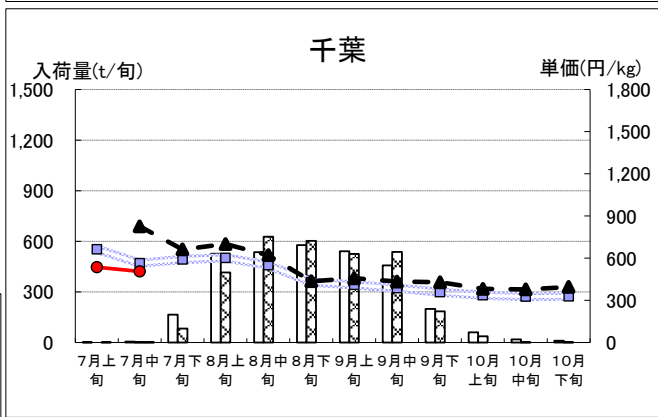
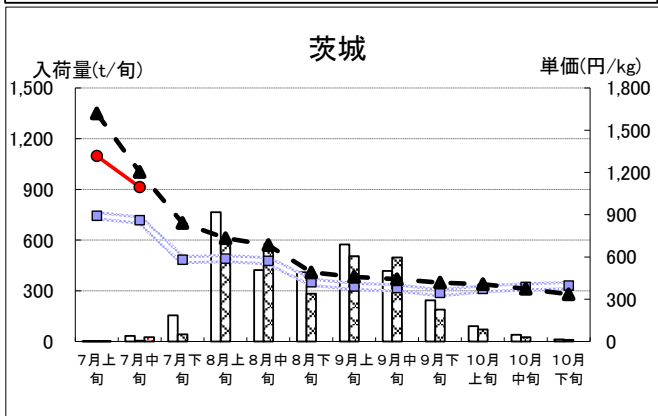
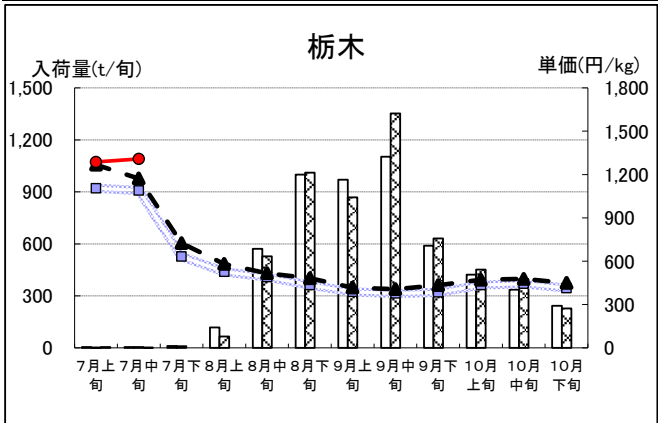
3 今月の青果物

日本なし

主要産地の日本なしの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2025年度8月入荷量	2025年度8月シェア率
栃木	1,605 t	26.7 %
茨城	1,419 t	23.6 %
千葉	1,644 t	27.4 %
福島	402 t	6.7 %

8月入荷予測	6,500t(前年比108.2%、平年比97.3%)		
8月価格予測	560円(前年比97.0%、平年比110.2%)		
8月市況予測	(上旬) 弱い ↘↘	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 保合 ⇒



今後の競合産地の動向は？

日本なしの例年の東京都中央卸売市場への入荷は、6月中旬の山梨県産ハウス「幸水」から始まります。

6月下旬から、佐賀県、福岡県等の九州地方からの入荷があり、7月中下旬から主産地である千葉県、茨城県、そして8月上中旬からは栃木県、福島県産の入荷が多くなります。

2025年(令和7年)8月の入荷量シェアは、千葉県が27.4%、次いで栃木県が26.7%、茨城県が23.6%、福島県が6.7%となっています。また今年は、栃木県産の出荷が早く、九州産地と出荷のピークが被るため、7月下旬～8月上旬の荷動きはやや緩慢となる見通しです。

千葉県産はJA長生のハウス「幸水」から入荷が始まります。主要品種は、「幸水」、「豊水」、「あきづき」、「新高」であり、新品種「秋満月(あきみつき)」の入荷増加も期待されています。

生育状況は、主産地である千葉県、茨城県、栃木県において、着果や結実は良好であり、適度に降雨もあつたため前年に比べ各地で大玉傾向の見込みです。

千葉県産なしの入荷のピークは「幸水」で8月上旬、「豊水」で8月下旬から9月上旬の予定となっております。

千葉県では、なしを重点品目に位置づけ、更なる認知度向上のために、生産者組織や関係機関と連携したプロモーション活動を行っています。

栽培面積、生産量、産出額が全国1位で、味が自慢の「千葉の梨」を是非ご賞味ください！

